

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

第 8 号

平成 31 年 3 月発行

発行／愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集／愛川町企画政策課

延伸実現に向けて要望活動を実施！

本協議会と相模原市及び町田市の住民団体（合計7団体）は共同で、平成30年8月24日及び10月3日に、小田急電鉄株式会社、神奈川県、相模原市、町田市に要望活動を実施し、瀧会長が神奈川県（浅羽副知事）に対し、小田急多摩線延伸の早期実現の要望書を提出しました。

また、本協議会は単独で、2月25日に、愛川町及び愛川町議会に対する要望活動を行い、瀧会長が小野澤町長及び小島議長に要望書を提出しました。

各要望先からは、小田急多摩線延伸の早期実現に向けた協力や連携、取り組みを強化していくことが確認がされました。

本協議会は、引き続き近隣団体と連携して取り組みを進めてまいります。



愛川町への要望活動



神奈川県への要望活動

各種イベントでPR活動を展開！

愛川町勤労祭野外フェスティバル

平成30年8月19日、愛川町勤労祭野外フェスティバル会場において、協議会役員及び会員がのぼり旗を手に、協議会だよりやお子さん向けに作成した協議会缶バッジの配布を行うなど、小田急多摩線の延伸早期実現をPRしました。

特に缶バッジは大人気で、在庫が瞬く間になくなってしまったなど、盛況裡に実施できました。



愛川町ふるさとまつり

平成30年10月21日、愛川町ふるさとまつりの協議会イベントブースにおいて、小田急多摩線延伸パネルの展示をはじめ、愛甲商工会青年部が実施した「未来の愛川町」を描いたポスターの中から、鉄道が描かれているポスターを展示したほか、小田急ロマンスカーパーパークラフト作成コーナーを設けるなど、お子さんにも大変よろこんでいただきました。

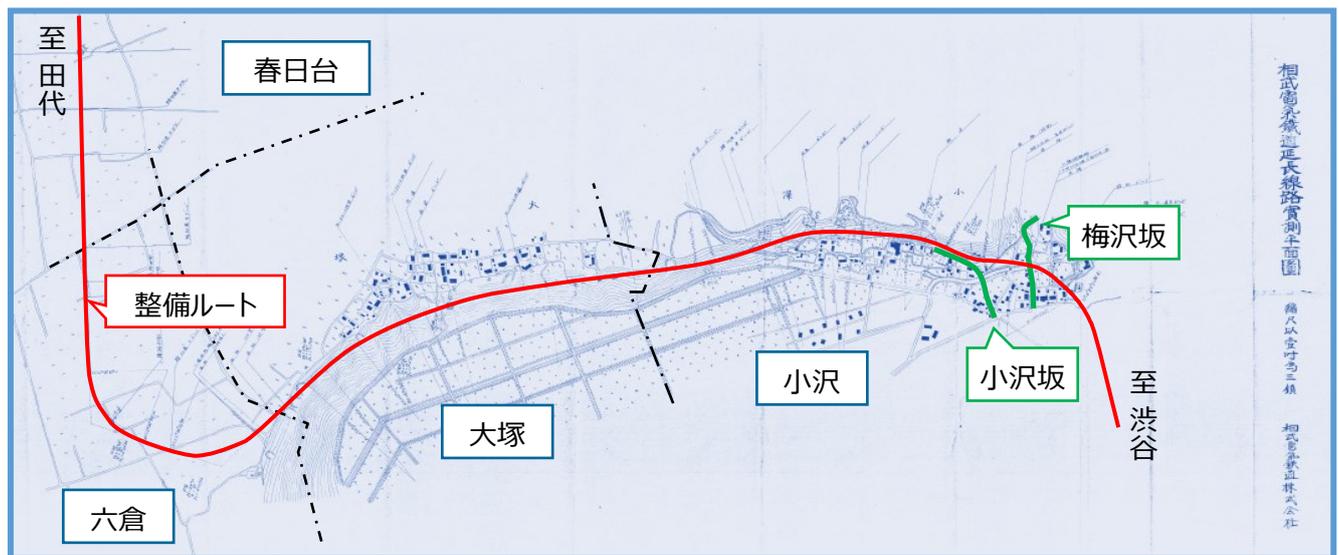


先人たちの想い～幻の相武電気鉄道～

相武電気鉄道は、大正末期から昭和初期に計画されていた路線で、当時養蚕が盛んであった上溝や愛川町と都心（渋谷）を結ぶために整備が進められていましたが、関東大震災や昭和2年の金融恐慌により工事が中断するなど幾多の困難に直面した結果、債務過多となり、昭和11年に免許取消、昭和13年には破産宣告を受け、開業が幻となってしまった路線です。

高田橋も橋の架け替えを行うにあたり、鉄道併用橋として建設することが決まっていたのですが、昭和2年の金融恐慌により中断してしまった工事を早期に完了させるため、道路単独での架橋に変更し、完成した経緯があります。

こうした鉄道計画に関する事柄について、平成30年6月2日、相模原市の上溝公民館において、詳細な説明や資料解説があったことから、本協議会の今後の事業の参考とするため、協議会役員が参加してまいりました。



相武電気鉄道延長線路実測平面図 (写) 《小沢～大塚～六倉》

※見やすいように一部加工しています。※この図面は、図面所有者である佐藤和夫氏のご厚意により、当時の資料を複写いただいたものです。

サンリオキャラクターがお出迎え！

小田急電鉄株式会社は、平成30年12月6日、小田急多摩線の「小田急多摩センター駅（東京都多摩市）」構内を“サンリオ仕様”に一新しました。

ホーム等の各所に多摩センター親善大使のハローキティをはじめとするキャラクターが登場するなど、エンターテイメント感にあふれていますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



© '76, '96, '01, '19 SANRIO APPROVAL No.P1012136

愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（42団体）

[自治会]

川北区、宮本区、原白区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区

[商工団体]

愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地共栄会、（一財）繊維産業会、（公社）厚木法人会愛川支部、（一社）厚木青色申告会愛川地区会、あいちゃん商店会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、（一社）愛川町建設業協会、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、（一社）神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合 《順不同》